

三寶寺 2004年(平成16年)行事予定

- 7月3日(土) 三寶寺移動研修・法話会「伊豆」
- 13日(火)~19日(月) 孟蘭盆会
- 23日(金) 仏典読書会
- 8月14日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 13日(金)~19日(木) 孟蘭盆会
- 27日(金) 仏典読書会
- 9月11日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 20日(月)~26日(日) 秋の彼岸
- 23日(木) 三寶寺秋の彼岸会 14:30より
- 24日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 10月9日(土) 定例法話会・寄席 13:30より
- 29日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 11月21日(日) 三寶寺仏具おみがき会 15:00より
- 28日(日) 三寶寺報恩講(定例法話会合流)
- 22日(月)~28日(日)
- 京都本山報恩講上山予定
- 26日(金) サンスクリット学習会・仏典読書会
- 12月8日(水) 成道会(釈尊)
- 11日(土) 定例法話会・寄席 13:30より

お問い合わせ・お申し込みは
三寶寺 0463-93-3236 まで

住職随想

政治、経済がからむ戦争、恨みを増長させる。恨みは武器を持たせ、人々を殺し、殺しあわせ、国々、地球をも滅亡させる。平和の祭典であるべきオリンピック、国の権力をアピールするには金メダルの数の多さがものを言う。勝てば英雄として財産が手に入る。わからなければ良い。禁断のクスリ、明日死亡しても飲むべきだ。わかっただけ居直れば良い。「私はおとし入れられた」わかっただけ。恥を知れ、運が悪かったただけ。恥を知れ、と仏法にはある。一度おこなった大罪は、未代まで語り継がれるとある。自分の一

代だけでなく、子孫のためにと気をつけたい。

仏法では、物事は話し合いで解決されてきた。人の生命は殺してはいけない。財産、自由は奪ってはいけない。人は生まれながらにして持っている本願の基である。医療と教育と福祉は誰でも平等に受けられる。そして一人ひとりが生命と財産、自由が守られなければならない。次の世代を背負う十代の学生から、釈迦はなぜ出家したのかの問いに私は、どう物事に立ち向かい解決してこられたのか、釈迦の心境を原始教典で掲載して明らかにしようと思ったのです。故稲津紀三先生は、正覚(お慈悲)智慧と光明)

の道が得られる、無上等正覚と述べられておられました。 合掌

伊藤孝男様寄稿

同朋大会に参加して

平成16年6月5日、日比谷公会堂において東京教区「同朋大会」が開催され、講師は九州大谷短大の学長古田和弘氏で、題は「すでにこの道あり」。主に次の様に聞かせていただきました。

私たちの周囲では殺人、虐待、戦争といった痛ましい悲惨なできごとはかりです。日本が戦争に負けたのは経済力、科学力、民主主義に負けた。その結果科学は合理性だけを追求する、民主主義という名のもとに、自分本位の物事を考えるようになった、という歴史の上に現在がある。善導大師は「帰るも、止まるも、行くも、死せん」といわれました。命はそのような状態であると説かれました。

それではなにか手をつつのではなく、今まで私たちが気づかずにおこしてきただけをもう一度振りかえりそれに目をむけなければならない。忘れていた大事なものを、もう一度思いだしていただくことではないでしょうか。



合掌

真宗大谷派(東本願寺)教務所から

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌 真宗本願両堂等御修復記念瓦記名 一万円以上の一般懇志をご進納された方は、このたびの修復で新調される御影堂の屋根瓦に名前を記すことができます(1枚に4名。専用用紙に手書きで書かれたお名前のそのままの文字が瓦に転写されます)。また記念品の授与も。御希望の方は三寶寺までご連絡を。

住職7月の日程

- 3日(土) 移動法話・研修会
- 28日(金) サンスクリット学習会

住職8月の日程

- 14日(土) 定例法話会・ふれあい寄席・戦没者追悼会・孟蘭盆会
- 13日(金) 16日(日) お盆
- 23日(月) 湘南組組会
- 23日(月)・24日(火) 長徳寺住職通夜・葬儀出仕
- 27日(金) サンスクリット学習会

住職9月の予定

- 11日(土) 定例法話会・ふれあい寄席
- 20日(月)~26日(日) 秋の彼岸
- 23日(木) 秋の彼岸会
- 24日(金) サンスクリット学習会